

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	広報戦略課広報戦略班				
事業名	広報活動の推進		連絡先	078-362-9023				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	658,398 千円	569,983 千円	604,714 千円	574,452 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	21,039 千円	20,690 千円	29,768 千円	22,135 千円		
		委託料	453,474 千円	489,898 千円	493,135 千円	495,612 千円		
		補助金・交付金	7,535 千円	7,535 千円	7,535 千円	7,535 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	176,350 千円	51,860 千円	74,276 千円	49,170 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(9,699千円)	(0千円)	(5,000千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他〔広告料収入、地域創生基金繰入金(地域振興基金繰入金)〕)	(98,350千円)	(107,147千円)	(77,768千円)	(66,051千円)		
		(一般財源)	(560,048千円)	(453,137千円)	(526,946千円)	(503,401千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	18.0人	18.0人	18.0人	18.0人		
			157,932 千円	162,666 千円	159,678 千円	160,272 千円		
	職員給与費 a		7,726 千円	7,841 千円	7,675 千円	7,708 千円		
		賞与引当金繰入額 b	455 千円	545 千円	545 千円	545 千円		
退職手当引当金繰入額 c		593 千円	651 千円	651 千円	651 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	18.0人	18.0人	18.0人	18.0人			
		816,330 千円	732,649 千円	764,392 千円	734,724 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[20,399千円]	[59,988千円]	[10,000千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	—	—	—	500	500	
	広報官等による職員研修の受講人数	実績(見込)	—	—	564	—	/	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	達成率(見込)	—	—	—	—			
	インターネットを活用した県広報媒体効果測定調査で「広報活動の認知」に対し「知っている」と回答した割合 ※調査は平成30年度から実施 ※()内は総コスト/兵庫県人口(各年度1月1日時点) H30 5,481千人 H31 5,481千人(見込)	目 標	—	—	—	57.0%	65.0%	
		実績(見込)	—	—	55.7%	—	【2023年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	(139.4円)	(134.0円)	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	(10.9円)	(1.8円)		
達成率(見込)	—	—	—	—				
評 価	<p>・ 県民の福祉(幸せ)、豊かな地域社会の実現のため、各事業において、県政の基本姿勢である「県民の参画と協働」を促進する広報を展開し、県政情報を的確に分かりやすく、そして県の魅力を強力に発信することが必要である。</p> <p>・ H30年度は、外部専門人材である広報官等のもと、部局事業の効果的な情報発信の支援や職員研修等を通じ県庁全体の広報力強化を行うとともに、本県の魅力(五国の多様性、県民主役・地域主導)に基づくブランディング戦略を展開している。広報支援においては約200件の指導を行うなど、県民目線での広報刊行物の改善等が着実に進んでいる。ブランディング戦略では、兵庫五国連邦プロモーション等により、地域への誇りや愛着の醸成、県内交流の促進に努めている。</p> <p>H31年度は、県外への魅力発信や、県内各地域の広報力強化にも積極的に取り組み、広報効果のさらなる向上を目指す。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	地域創生課			
事業名	首都圏等からの兵庫への移住促進（平成27年度～）				連絡先	078-362-4221			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	44,810千円	45,033千円	44,978千円	45,108千円				
	経費内訳	報酬・賃金	1,705千円	5,860千円	5,860千円	5,860千円			
		委託料	20,702千円	18,529千円	18,397千円	19,048千円			
		補助金・交付金	94千円	76千円	50千円	50千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	22,309千円	20,568千円	20,671千円	20,150千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(22,405千円)	(22,516千円)	(22,489千円)	(22,554千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[基金]）	(0千円)	(0千円)	(22,489千円)	(22,554千円)			
		（一般財源）	(22,405千円)	(22,517千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人			
			26,322千円	27,111千円	26,613千円	26,712千円			
		職員給与費 a	23,178千円	23,523千円	23,025千円	23,124千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,365千円	1,635千円	1,635千円	1,635千円			
退職手当引当金繰入額 c		1,779千円	1,953千円	1,953千円	1,953千円				
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人				
		71,132千円	72,144千円	71,591千円	71,820千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	移住相談件数(累計) (地域創生アクション・プラン)	目標	1,400	3,800	6,200	8,600	—		
		実績(見込)	1,580	6,098	(9,921)	(12,321)			
		(単位当たりコスト)	(45千円)	(16千円)	(19千円)	(30千円)			
		[うち事業拡大分]							
	H31目標値はH30実績を踏まえ、今後見直し予定	達成率(見込)	112.9%	160.5%	(160.0%)	(143.3%)			
		目標	18	48	78	108	—		
		実績(見込)	18	48	(86)	(108)			
		(単位当たりコスト)	(3,952千円)	(2,405千円)	(1,884千円)	(3,265千円)			
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数(累計) (地域創生アクション・プラン)	[うち事業拡大分]							
達成率(見込)		100.0%	100.0%	(110.3%)	(100.0%)				
評価	<p>・本県からの主な人口転出先となっている首都圏及び関西圏での情報発信力を強化し、UJIターンを促進する必要がある。</p> <p>・東京及び神戸のカムバックひょうごセンターにおける移住相談は、首都圏及び関西圏での情報発信力強化や移住希望者の負担軽減などにより、兵庫県への移住者増加の効果が期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。</p> <p>・東京・神戸の両センターの運営が軌道に乗り、目標を上回るペースで兵庫県への移住者が増えていることから、今後も着実に事業を実施する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	広聴課広聴相談班			
事業名	県民交流バス事業（平成30年度～）※H28.29は「走る県民教室実施費」を記載				連絡先	078-362-3022			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	41,162千円	40,017千円	57,542千円	57,542千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	40,657千円	40,017千円	57,250千円	57,270千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	505千円	224千円	292千円	292千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(20,581千円)	(3,250千円)	(28,771千円)	(28,771千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他「地域創生基金繰入金（地域振興基金繰入金）」）	(20,581千円)	(36,767千円)	(28,771千円)	(28,771千円)			
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	4.8人	4.8人	4.8人	4.8人			
			42,114千円	43,378千円	42,581千円	42,739千円			
		職員給与費 a	37,084千円	37,637千円	36,840千円	36,998千円			
		賞与引当金繰入額 b	2,184千円	2,616千円	2,616千円	2,616千円			
退職手当引当金繰入額 c		2,846千円	3,125千円	3,125千円	3,125千円				
総コスト（①+②）	従事人員	4.8人	4.8人	4.8人	4.8人				
		83,276千円	83,395千円	100,123千円	100,281千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	実施台数 (地域創生戦略アクションプラン(事業KPI))	目標	2,000	2,000	2,000	通常分1,500 特別枠 500	2,000		
		実績（見込）	1,510	1,478	(1,710)	通常(1,500) 特別 (500)			
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(55千円) [0千円]	(56千円) [0千円]	(59千円) [0千円]	(51千円) [0千円]			
		達成率（見込）	75.5%	73.9%	(85.5%)	(100.0%)			
	県民局管外への見学台数割合 (1台につき複数箇所の見学あり) ※H31目標値 通常分:「走県」過去3ヶ年の平均管外割合の最高率91.5%を基本とする。 1,500台×91.5%≒1,373台 特別枠:100%(管外が要件) 500台×100%=500台 1,373台+500台=1,873台 1,873台/2,000台≒93%	目標	91.5%	91.5%	91.5%	93.0%	93.0%		
		実績（見込）	86.1%	86.5%	(86.5%)	(93.0%)			
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	94.1%	94.5%	(94.5%)	(100.0%)			
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・県民主体の地域間交流を目的に「走る県民教室」の補助要件を見直し「県民交流バス」を創設したところ、約1割の実績増の効果が見受けられる。(29)1,478台→(30)1,710台) ・31年度からは、日本遺産の認定を受けて盛り上がる地域をはじめ、ひょうご五国の宝である地域遺産を巡るコース（特別枠「ひょうご五国巡り」）を新設し、県民の地域間交流を一層促進する。（通常分1,500台、特別枠500台） 							
3年目の見直し		—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	地域創生課			
事業名	ひょうごe-県民登録事業			連絡先	078-362-4221			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	—	—	—	81,296 千円			
	経費内訳	報酬・賃金				0 千円		
		委託料				77,896 千円		
		補助金・交付金				0 千円		
		貸付金				0 千円		
		その他需用費等				3,400 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(39,212千円)		
		(県債)				(0千円)		
		(その他[基金、寄附金])				(42,084千円)		
		(一般財源)				(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 3.0人
			0 千円	0 千円	0 千円	26,712 千円		
		職員給与費 a	0 千円	0 千円	0 千円	23,124 千円		
		賞与引当金繰入額 b	0 千円	0 千円	0 千円	1,635 千円		
退職手当引当金繰入額 c		0 千円	0 千円	0 千円	1,953 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員 3.0人	
		0 千円	0 千円	0 千円	108,008 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	ひょうごe-県民の登録者数 (地域創生アクション・プラン)	目標				20,000	—	
		実績(見込)				(20,000)		
		(単位当たりコスト)				(5 千円)		
[うち事業拡大分]								
	達成率(見込)				(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や大阪府等への人口流出が続く一方で、本県から転出し全国で活躍する兵庫にゆかりのある人の力を活用し、地域の元気づくりに活かしていくために、兵庫県と県外在住者とのネットワーク化が必要である。 ・転出超過や少子高齢化により地域の担い手確保が課題となる中、定住人口でも交流人口でもない関係人口を活用した地域の元気づくりが期待できることから、政策目的と照らし合わせて事業の実施は妥当である。 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	県民生活課ふれあい推進班			
事業名	ふれあいの祭典の開催（平成元年度～）				連絡先	078-362-3992			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	11,373千円		20,000千円		35,000千円		20,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	11,273千円		19,800千円		34,800千円		19,800千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	100千円		200千円		200千円		200千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(5,687千円)		(10,000千円)		(15,000千円)		(10,000千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金繰入金（地域振興基金繰入金）〕）	(5,686千円)		(10,000千円)		(20,000千円)		(10,000千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			26,322千円		27,111千円		26,613千円		26,712千円
		職員給与費 a	23,178千円		23,523千円		23,025千円		23,124千円
		賞与引当金繰入額 b	1,365千円		1,635千円		1,635千円		1,635千円
退職手当引当金繰入額 c		1,779千円		1,953千円		1,953千円		1,953千円	
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
		37,695千円		47,111千円		61,613千円		46,712千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[15,000千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	ふれあいの祭典来場者数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	40,000	50,000	100,000	55,000	60,000		
		実績（見込）	41,000	32,000	(107,000)	(55,000)	[2021年度]		
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
達成率（見込）	102.5%	64.0%	(107.0%)	(100.0%)					
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・（開催地域が持ち回りであるため）開催地域の人口や開催当日の天候に大きく左右されるものの、平成30年度においては目標を上回る来場者数があった。 ・普段関わりが少ない世代間や団体間の幅広い交流が祭典を通じて生まれ、将来を担う地域の人材育成や地域づくり活動団体のパワーアップを図る場として有効に活用されている。 ・多くの人々が地域や兵庫県の魅力を発見し、地域づくり活動の活性化や新たな交流の契機となる場として有効であると評価できる。 ・引き続き企画内容を工夫し、更なる来場者数の増加や満足度の向上に努める。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	地域創生課			
事業名	首都圏等での“ひょうご五国”の認知度向上事業（平成28年度～）		連絡先	078-362-4221			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	19,127千円	47,302千円	46,558千円	46,954千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	19,057千円	45,662千円	45,877千円	45,573千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	70千円	1,640千円	681千円	1,381千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(8,274千円)	(23,651千円)	(23,279千円)	(23,477千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[基金]）	(0千円)	(23,651千円)	(23,279千円)	(23,477千円)	
		（一般財源）	(10,853千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人	
			26,322千円	27,111千円	26,613千円	26,712千円	
		職員給与費 a	23,178千円	23,523千円	23,025千円	23,124千円	
		賞与引当金繰入額 b	1,365千円	1,635千円	1,635千円	1,635千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,779千円	1,953千円	1,953千円	1,953千円		
総コスト（①+②）	従事人員	3.0人	3.0人	3.0人	3.0人		
		45,449千円	74,413千円	73,171千円	73,666千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		移住相談件数(累計) (地域創生アクション・プラン)	目標	1,400	3,800	6,200	8,600
		実績(見込)	1,580	6,098	(9,921)	(12,321)	
	H31目標値はH30実績を踏まえ、今後見直し予定	(単位当たりコスト)	(29千円)	(16千円)	(19千円)	(31千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率(見込)	112.9%	160.5%	(160.0%)	(143.3%)	
	カムバックひょうごセンターでの相談を経由した移住者数(累計) (地域創生アクション・プラン)	目標	18	48	78	108	—
		実績(見込)	18	48	(86)	(108)	
		(単位当たりコスト)	(2,525千円)	(2,480千円)	(1,926千円)	(3,348千円)	
		[うち事業拡大分]					
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(110.3%)	(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・社会増対策の一環として県外人口の流入を促進するためには、首都圏及び関西圏等における“兵庫の認知度向上”を図る本事業の実施が不可欠である。 ・平成30年度は、ひょうご博覧会in大阪等、県政150周年記念事業と連携し、首都圏及び関西圏における兵庫の認知度向上を図り、交流人口の拡大を図ることができた。 ・引き続き、関係人口の捕捉等、平成31年度の次期地域創生戦略の方向性を見据え、首都圏及び関西圏を中心に県外人口流入の流れをつくる。 						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	労政福祉課	労政企画班		
事業名	カムバックひょうごハローワーク設置・運営事業		連絡先	078-362-3227			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	0千円	8,226千円	9,137千円	0千円		
	経費内訳	報酬・賃金		5,610千円	6,120千円	0千円	
		委託料		0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金		0千円	0千円	0千円	
		貸付金		0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等		2,616千円	3,017千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)		(3,390千円)	(4,568千円)	(0千円)	
		(県債)		(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(その他[地域創生基金繰入金])		(0千円)	(4,569千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(4,836千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.0人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.0人	
			0千円	1,807千円	1,774千円	0千円	
		職員給与費 a	0千円	1,568千円	1,535千円	0千円	
		賞与引当金繰入額 b	0千円	109千円	109千円	0千円	
退職手当引当金繰入額 c		0千円	130千円	130千円	0千円		
総コスト (①+②)	従事人員	0.0人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.0人		
		0千円	10,033千円	10,911千円	0千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	移住相談件数(累計) (地域創生戦略総括KPI)	目 標	—	2,600	3,800		/
		実績(見込)	—	2,950	(4,950)		
		(単位当たりコスト)	—	(3千円)	(2千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
	達成率(見込)	—	113.5%	(130.3%)			
	県の支援によるUJIターン 就職者数(各種支援事業 による就職者の合算) (地域創生戦略総括KPI)	目 標	—	500	550		/
		実績(見込)	—	530	(550)		
		(単位当たりコスト)	—	(19千円)	(20千円)		
		[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
達成率(見込)	—	106.0%	(100.0%)				
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・カムバックひょうご東京センターに併設することで、相談業務の効率化及び設備の共有化も図ることができると、効率的な事業実施が可能である。 ・少しずつではあるが相談件数も増加しており、相談1件あたりコストは減少している。UJIターン就職には継続した情報提供が重要であるため、支援を継続する。 ・平成31年度からは事業の効果的な活用を推進するため、県内企業への就職促進関連事業を「ひょうごで働こう！プロジェクト」に統合して重層的に取り組み、一体的にPRを行い、移住支援金制度の周知、支援金対象求人紹介も併せて実施 						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	国際交流課地域国際化班				
事業名	ひょうご多文化共生総合相談センター（仮称）の創設		連絡先	078-362-3025				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①				40,237 千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料				40,237 千円		
		補助金・交付金						
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）				(10,000千円)		
		（県債）						
		（その他[]）						
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(30,237千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人
						890 千円		
		職員給与費 a				771 千円		
		賞与引当金繰入額 b				55 千円		
退職手当引当金繰入額 c					65 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人	
		0 千円	0 千円	0 千円	41,127 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	-	-	-	3,000		
	相談件数	実績（見込）	-	-	-	(3,000)		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	(14 千円)	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率（見込）	-	-	-	(100.0%)		
	おすまいの市・町は、外国人にも住みやすくなっていると思う人の割合（県民意識調査）	目 標	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%		
		実績（見込）	29.7%	29.3%	29.0%	29.0%		
		（単位当たりコスト）	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(1,418 千円)	/	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率（見込）	148.5%	146.5%	(145.0%)	(145.0%)		
	評価	<p>・国が提示した「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」に基づき、都道府県に求められている情報提供・相談を行う一元的相談窓口として、平日相談を実施しているひょうご外国人県民インフォメーションセンターに加え、外国人支援団体と連携し週末相談を実施する「ひょうご多文化共生総合相談センター」を設置する。</p> <p>・国の入管法改正に伴い、県内に居住する外国人県民の増加が見込まれる中で、外国人労働者を受け入れる企業・団体の外国人対応から漏れ落ちてくると想定される生活相談に対応する。</p>						
3年目の見直し		—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	「五つ星ひょうご」プロモーション事業				連絡先	078-362-3317			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他[])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(一般財源)	(24,000千円)	(24,000千円)	(24,000千円)	(24,000千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
			4,388千円	4,520千円	4,437千円	4,453千円			
		職員給与費 a	3,863千円	3,921千円	3,838千円	3,854千円			
		賞与引当金繰入額 b	228千円	273千円	273千円	273千円			
退職手当引当金繰入額 c		297千円	326千円	326千円	326千円				
総コスト (①+②)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人				
		28,388千円	28,520千円	28,437千円	28,453千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	五つ星ひょうご選定商品数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標		50商品	50商品	50商品	50商品		
		実績(見込)		95商品	87商品	69商品	(50商品)		
		(単位当たりコスト)		-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
	達成率(見込)		190.0%	174.0%	138.0%	(100.0%)			
	兵庫県の魅力度 ※(株)ブランド総合研究所「地域ブランド調査」	目標		10位以内	10位以内	10位以内	10位以内		
		実績(見込)		16位	12位	12位	(10位)		
		(単位当たりコスト)		-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)		-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信や展示販売等により特産品プロモーションを全国に向けPRすることにより、兵庫県特産品のブランドイメージの定着・向上を図ることに寄与する。 ・県内特産品の宣伝・紹介を行う唯一の県域団体である(公社)兵庫県物産協会が新規商品開拓から商品選定、物産展の開催等の各種プロモーションまでトータルコーディネートを行い、効率的な執行を図っている。 ・新規商品開拓を進め、H30年度は69商品を五つ星ひょうごとして選定し、目標達成。今後は新規選定商品PR等を行い魅力度アップに努める。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	観光振興課ツーリズム政策班				
事業名	観光産業の人材確保・育成事業		連絡先	078-362-3317				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	6,499千円	10,000千円	10,000千円	7,000千円			
	経費内訳	報酬・賃金	24千円	50千円	50千円	50千円		
		委託料	4,597千円	6,813千円	7,700千円	5,793千円		
		補助金・交付金	1,000千円	2,887千円	2,000千円	907千円		
		貸付金						
		その他需用費等	878千円	250千円	250千円	250千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(3,299千円)	(4,999千円)	(5,000千円)	(3,500千円)		
		(県債)						
		(その他[基金繰入金])		(5,001千円)	(5,000千円)	(3,500千円)		
		(一般財源)	(3,200千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,387千円	4,519千円	4,436千円	4,452千円		
		職員給与費 a	3,863千円	3,921千円	3,838千円	3,854千円		
		賞与引当金繰入額 b	228千円	273千円	273千円	273千円		
退職手当引当金繰入額 c		297千円	326千円	326千円	326千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		10,886千円	14,519千円	14,436千円	11,452千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		セミナー・研究会参加者数(地域創生アクションプラン)	目標	50人	50人	50人	50人	
		実績(見込)	81人	54人	(50人)	(50人)		
		(単位当たりコスト)	(134千円)	(269千円)	(289千円)	(229千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
		達成率(見込)	162.0%	108.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	インターンシップ参加者数	目標	—	50人	50人	50人		
		実績(見込)	—	77人	(50人)	(50人)		
		(単位当たりコスト)	—	(189千円)	(289千円)	(229千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
達成率(見込)		—	154.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>旅館等では人材の確保・育成が非常に困難な状況にあるため、観光産業のやりがい・魅力の発信を行い業界のイメージアップを図るとともに、地元への愛着等の醸成により観光産業に携わる人材の裾野拡大を図ることに寄与することを目的として実施している。</p> <p>企画提案コンペによる民間活力の活用や、地域の実情に応じて関係機関（旅館組合、観光協会、大学、民間事業者等）と連携することにより、効果的・効率的な執行を行っている。</p> <p>民間事業者・大学等と連携することにより、平成29年度は説明会及びインターンシップの目標参加人数を達成。今後もイメージアップ等を図り、目標達成を図る。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	観光振興課ツーリズム政策班				
事業名	神戸ルミナリエ開催事業（平成9年度～）		連絡先	078-362-3616				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	24,310 千円	45,170 千円	45,300 千円	45,300 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	24,310 千円	45,170 千円	45,300 千円	45,300 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他〔地域創生基金、ふるさとひょうご寄附基金等〕）	(24,310千円)	(45,170千円)	(45,300千円)	(45,300千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			1,755 千円	1,807 千円	1,774 千円	1,781 千円		
		職員給与費 a	1,545 千円	1,568 千円	1,535 千円	1,542 千円		
		賞与引当金繰入額 b	91 千円	109 千円	109 千円	109 千円		
退職手当引当金繰入額 c		119 千円	130 千円	130 千円	130 千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		26,065 千円	46,977 千円	47,074 千円	47,081 千円			
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	来場者数 （活力あるふるさとひょうご実現プログラム指標）	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標		300 万人	350 万人	350 万人	350 万人	
		実績（見込）		325 万人	340 万人	343 万人	(350 万人)	
		（単位当たりコスト）		(80 千円)	(138 千円)	(137 千円)	(135 千円)	
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—	
	達成率（見込）		108.3%	97.1%	(98.0%)	(100.0%)		
	来場者評価 （神戸ルミナリエ組織委員会「神戸ルミナリエ評価・効果測定調査」）	目 標		「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	「好印象」 95%以上	
		実績（見込）		97.6%	98.3%	(98.3%)	(95.0%)	
		（単位当たりコスト）		—	—	—	—	
		〔うち事業拡大分〕		—	—	—	—	
達成率（見込）			102.7%	103.5%	(103.5%)	(100.0%)		
評価	<p>・神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託して開催され、人々に希望と勇気をもたらすイメージシンボリックな役割を担っているため、継続開催の必要がある。</p> <p>・毎年300万人以上の来場者が訪れており、観光振興面で非常に効果が高い。</p> <p>・特にH29～30年度は、神戸港開港150年・県政150周年記念として作品内容を拡充した効果により、来場者数は平成28年度に比べて15～18万人増加したもののわずかに目標に届かなかったが、来場者評価は98%を超え目標を達成した。</p> <p>・今後も、インバウンド客に対して夜の観光振興としての魅力を発信したり、国内外への効果的なプロモーションを実施するなど様々な取組を総合的に推進することにより目標達成に努める。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国				所管課班	観光振興課ツーリズム政策班			
事業名	あいたい兵庫キャンペーン2019実施事業				連絡先	078-362-9159			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	43,000 千円		43,000 千円		43,000 千円		40,000 千円	
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	43,000 千円		43,000 千円		43,000 千円		40,000 千円
		貸付金							
		その他需用費等							
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(21,500千円)		(21,500千円)		(20,000千円)
		(県債)							
		(その他[基金繰入金])			(21,500千円)		(21,500千円)		(20,000千円)
		(一般財源)	(43,000千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
		賞与引当金繰入額 b	455 千円		545 千円		545 千円		545 千円
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		51,774 千円		52,037 千円		51,871 千円		48,904 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	県内主要観光施設の観光入込客数の対前年度比平均伸び率 (地方創生戦略アクションプラン)	目 標	110.0%	110.0%	110.0%	110.0%	-		
		実績(見込)	100.4%	106.7%	110.0%	110.0%			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	91.3%	97.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	観光入込客数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	-	143百万人	147百万人	150百万人			
		実績(見込)	134百万人	139百万人	(147百万人)	(150百万人)			
		(単位当たりコスト)	(386 千円)	(374 千円)	(353 千円)	(326 千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	-	97.2%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に県外からの観光客入込数の確保を図るためには、あいたい兵庫 destinations キャンペーン(H21年)等で得られたノウハウや成果を活かし、継続的に観光客の誘致に取り組む必要がある。 ・ツーリズムについての専門的知識と豊かな経験を有し、市町や観光協会、観光関連企業等と緊密な連携関係があるひょうごツーリズム協会を事業主体として実施している。 ・県内主要観光施設の観光客入り込み数の対前年度比平均伸び率については、気候や社会情勢により目標(110%)に達していないこともあるが、前年以上入り込み数は達成している。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	観光振興課ツーリズム政策班					
事業名	ひょうごツーリズムバス実施事業		連絡先	078-362-3317					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	53,808千円	53,808千円	56,596千円	56,596千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	53,808千円	53,808千円	56,596千円	56,596千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(26,154千円)	(26,154千円)	(28,298千円)	(28,298千円)			
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他[地域振興基金、H30～地域創生基金])	(27,654千円)	(27,654千円)	(28,298千円)	(28,298千円)			
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			4,388千円	4,520千円	4,437千円	4,453千円			
		職員給与費 a	3,863千円	3,921千円	3,838千円	3,854千円			
		賞与引当金繰入額 b	228千円	273千円	273千円	273千円			
退職手当引当金繰入額 c		297千円	326千円	326千円	326千円				
総コスト (①+②)	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	
		58,196千円	58,328千円	61,033千円	61,049千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[2,788千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		バス助成台数(地域創生アクションプラン)	目 標	2200台	2200台	2400台	2400台		
		実績(見込)	2073台	1985台	(2400台)	(2400台)			
		(単位当たりコスト)	(28千円)	(29千円)	(25千円)	(25千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	94.2%	90.2%	(100.0%)	(100.0%)				
	観光入込客数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	-	143百万人	147百万人	150百万人			
		実績(見込)	134百万人	139百万人	(147百万人)	(150百万人)			
		(単位当たりコスト)	(434千円)	(420千円)	(415千円)	(407千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)		-	97.2%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・本県へのバスを活用した旅行に対して助成を行うことは、国内外からの観光客の本県への誘致に大きく寄与する。 ・(公社)ひょうごツーリズム協会に補助することにより、同協会が申請受付から実施確認、助成金支払いまで一括して行っており、効率的な執行を図っている。 ・約2,000台のバス助成を行っていることは、旅行先を選ぶ際の大きなインセンティブになっていると考えられる。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		交流五国		所管課班	観光振興課ツーリズム政策班					
事業名		観光地魅力アップ支援事業		連絡先	078-362-3317					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	—		10,000千円		10,000千円		10,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		0千円	
		委託料	—		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	—		10,000千円		10,000千円		10,000千円	
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	—		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(県債)	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[])	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	—		(10,000千円)		(10,000千円)		(10,000千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—		0.2人		0.2人		0.2人	
			—		1,809千円		1,775千円		1,782千円	
		職員給与費 a	—		1,569千円		1,535千円		1,542千円	
		賞与引当金繰入額 b	—		109千円		109千円		109千円	
退職手当引当金繰入額 c		—		131千円		131千円		131千円		
総コスト (①+②)	従事人員	—		0.2人		0.2人		0.2人		
		—		11,809千円		11,775千円		11,782千円		
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	新たな観光資源数 (地域創生アクションプラン)	指標	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		実績(見込)	—	3	3	3				
	観光入込客数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
		達成率(見込)	—	100.0%	100.0%	(100.0%)				
		指標	—	143百万人	147百万人	150百万人				
	達成率(見込)	実績(見込)	—	139百万人	(147百万人)	(150百万人)				
		(単位当たりコスト)	—	85千円	80千円	79千円				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
		達成率(見込)	—	97.2%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・旅行者のニーズは多様化しており、さらなる誘客を図るためにテーマ性のあるツーリズムを提案・推進する必要があるため本事業を実施した。</p> <p>・ツーリズム振興に知見が高く、観光関連団体等と連携関係にある(公社)ひょうごツーリズム協会は、地域情報を集積している。また、誘客効果や地域への波及・将来性等について、民間の視点やノウハウに基づき事業を実施しており、効率的・効果的な運営を行った。</p> <p>・新たな観光資源数については、着実に目標を達成してきており、県内観光入込客数も前年を上回る見込みである。</p>									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	交流五国	所管課班	国際観光課国際ツーリズム班				
事業名	インバウンド受入体制整備促進事業	連絡先	078-362-3697				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	75,000千円	40,000千円	37,000千円	37,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金	75,000千円	40,000千円	37,000千円	37,000千円	
		貸付金					
		その他需用費等					
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(50,000千円)	(20,000千円)	(0千円)	(0千円)	
		(県債)					
		(その他[地域創生基金])			(37,000千円)		
		(一般財源)	(25,000千円)	(20,000千円)		(37,000千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
			1,755千円	1,807千円	1,774千円	1,781千円	
		職員給与費 a	1,545千円	1,568千円	1,535千円	1,542千円	
		賞与引当金繰入額 b	91千円	109千円	109千円	109千円	
退職手当引当金繰入額 c		119千円	130千円	130千円	130千円		
総コスト (①+②)	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
		76,755千円	41,807千円	38,774千円	38,781千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【32年度】
		外国人受入基盤整備支援団体数	目標	20	15	15	15
		実績(見込)	22	21	(15)	(15)	
		(単位当たりコスト)	(3,489千円)	(1,991千円)	(2,585千円)	(2,585千円)	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
		達成率(見込)	110.0%	140.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	訪日外客数(兵庫県)(地域創生戦略事業進捗指標)(活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標)(単位:万人)	目標	120	180	214	260	300
		実績(見込)	149	158	(180)	(260)	
		(単位当たりコスト)	(515千円)	(265千円)	(215千円)	(149千円)	
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	
達成率(見込)		124.2%	87.8%	(84.1%)	(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日外客数が増加する中、受入基盤整備が急務であることから、事業の必要性は高い。 ・地域の観光振興を担う観光協会等を事業実施主体としたスキームとしており、ニーズを捉えた効率的な受入基盤整備を進めている。 						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	国際観光課国際ツーリズム班				
事業名	インバウンド対策推進に向けたDMO参画事業		連絡先	078-362-3697				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	6,500千円	16,650千円	16,650千円	16,650千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金	6,500千円	16,650千円	16,650千円	16,650千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(6,500千円)	(16,650千円)	(16,650千円)	(16,650千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人		
			2,632千円	2,711千円	2,661千円	2,671千円		
		職員給与費 a	2,318千円	2,352千円	2,303千円	2,312千円		
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円		
退職手当引当金繰入額 c		178千円	195千円	195千円	195千円			
総コスト (①+②)		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人			
	9,132千円	19,361千円	19,311千円	19,321千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【32年度】	
	瀬戸内7県への外国人延べ宿泊者数	目標	308	364	430	508		
		実績(見込)	291	350	(430)	(508)		
		(単位当たりコスト)	(31千円)	(55千円)	(45千円)	(38千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
	達成率(見込)	94.5%	96.2%	(100.0%)	(100.0%)			
	訪日外客数(兵庫県) (地域創生戦略事業進捗指標) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	目標	120	180	214	260	300	
		実績(見込)	149	158	(180)	(260)		
		(単位当たりコスト)	(61千円)	(123千円)	(107千円)	(74千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率(見込)	124.2%	87.8%	(84.1%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの誘客を促進するため、広域エリア全体を俯瞰しマネジメントできる官民連携組織として事業を展開 民間企業からの負担金や国費の活用など、コスト削減に取り組むとともに、民間の人材も活用し、より効率的・効果的な事業を実施 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	国際観光課国際ツーリズム班				
事業名	インバウンドプロモーション事業		連絡先	078-362-3340				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	14,303千円	38,426千円	47,503千円	34,603千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	2,420千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	14,303千円	36,006千円	47,503千円	34,603千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(8,091千円)	(19,213千円)	(19,700千円)	(14,999千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[地域創生基金])	(0千円)	(0千円)	(27,803千円)	(14,999千円)		
		(一般財源)	(6,212千円)	(19,213千円)	(0千円)	(4,605千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	8,904千円		
		職員給与費 a	7,726千円	7,841千円	7,675千円	7,708千円		
		賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円	545千円		
退職手当引当金繰入額 c		593千円	651千円	651千円	651千円			
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人		
		23,077千円	47,463千円	56,374千円	43,507千円			
	[うち事業拡大分]	-	[24,123千円]	[9,077千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【32年度】	
		訪日外客数(兵庫県) (地域創生戦略事業進捗指標)	目標	120	180	214	260	300
		実績(見込)	149	158	(180)	(260)		
	(活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	(単位当たりコスト)		(155千円)	(300千円)	(313千円)	(167千円)	
		[うち事業拡大分]			[153千円]	[50千円]	[0千円]	
		達成率(見込)		124.2%	87.8%	(84.1%)	(100.0%)	
	海外プロモーション件数 (地域創生戦略事業進捗指標)	目標		-	12	24	36	
		実績(見込)		-	13	(24)	(36)	
		(単位当たりコスト)		-	(3,651千円)	(2,349千円)	(1,209千円)	
		[うち事業拡大分]		-	[1,856千円]	[378千円]	[0千円]	
	達成率(見込)		-	108.3%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	・「ひょうごツーリズム戦略」(H29~31)に基づき、プロモーション、情報発信にかかる施策を総合的に実施 ・事業実施にあたっては、民間事業者や広域DMOとの連携、国制度の活用など、効率化、コストの削減の取り組みを実施							
	3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	国際観光課国際ツーリズム班			
事業名	ゴールドenspーツイヤーズを捉えたインバウンド誘客事業		連絡先	078-362-3340			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①				27,744 千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金				27,744 千円	
		貸付金					
		その他需用費等					
	(財源内訳)	(国庫支出金)					
		(県債)					
		(その他[地域創生基金])					
		(一般財源)					(27,744千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員	従事人員 1.0人
						8,904 千円	
職員給与費 a						7,708 千円	
賞与引当金繰入額 b						545 千円	
退職手当引当金繰入額 c						651 千円	
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員	従事人員 1.0人	
						36,648 千円	
	[うち事業拡大分]					[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	訪日外客数(兵庫県) (地域創生戦略事業進捗指標) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標) (単位:万人)	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【32年度】
		目 標				260	300
		実績(見込)				(260)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]				(141 千円) [0千円]	
	達成率(見込)				(100.0%)		
	海外プロモーション件数 (地域創生戦略事業進捗指標)	目 標				36	
		実績(見込)				(36)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]				(1,018 千円) [0千円]	
達成率(見込)					(100.0%)		
評 価	<p>・ゴールドenspーツイヤーズは海外から日本・関西への関心が高まる好機であり、事業の必要性は高い。 ・事業実施にあたっては、世界的なメディアやオンライン事業者など新たなPR手段を活用し、効率的な事業展開を図る。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	交流五国			所管課班	空港政策課 運営企画班			
事業名	但馬路線運航対策事業（平成7年度～）			連絡先	078-362-3561			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	152,229千円	199,878千円	190,181千円	145,570千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金	152,229千円	199,878千円	190,181千円	145,570千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他〔特定：地域振興基金〕）	(152,229千円)	(199,878千円)	(190,181千円)	(145,570千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			878千円	904千円	888千円	891千円		
		職員給与費 a	773	784	768	771		
		賞与引当金繰入額 b	46	55	55	55		
退職手当引当金繰入額 c		59	65	65	65			
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		153,107千円	200,782千円	191,069千円	146,461千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	30,000人	33,000人	37,000人	40,000人	—	
	但馬空港旅客数〔単年〕	実績（見込）	30,660人	31,967人	(38,400人)	(40,000人)		
		(単位当たりコスト)	(5千円)	(6千円)	(5千円)	(4千円)		
		[うち事業拡大分]						
		達成率（見込）	102.2%	96.9%	(103.8%)	(100.0%)		
		目 標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
達成率（見込）								
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬-伊丹路線は、伊丹空港を経由して全国につながる貴重な高速移動手段であり、交流人口を拡大し地域活性化を図る上で、今後も維持が必要。 ・運航で生じた前年度の欠損補填は、運航事業者から県に提示されている運航条件であり、路線維持には当補助事業の実施が不可欠。 ・平成30年度には、運航事業者の機材更新計画に合わせて当該路線の機材更新を実施し、安全で安定的な運航を維持するとともに、機材の大型化により旅客数の大幅な増加を見込んでいる。 ・但馬の強みである観光による誘客（関西圏・首都圏における旅行商品の開発支援）等、継続的な利用促進により、更なる交流人口の拡大に繋げていく。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	交通政策課地域交通班					
事業名	バス対策事業		連絡先	078-362-3885					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	445,418千円	431,950千円	131,092千円	140,043千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	445,418千円	431,950千円	131,092千円	140,043千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	(財源内訳)	(国庫支出金)							
		(県債)							
		(その他[])							
		(一般財源)	(445,418千円)	(431,950千円)	(131,092千円)	(140,043千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人
			5,264千円		5,422千円		5,323千円		5,342千円
		職員給与費 a	4,636千円	4,705千円	4,605千円	4,625千円			
		賞与引当金繰入額 b	273千円	327千円	327千円	327千円			
退職手当引当金繰入額 c		356千円	391千円	391千円	391千円				
総コスト (①+②)	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	
		450,682千円		437,372千円		136,415千円		145,385千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[5,000千円]		[3,713千円]		[1,000千円]	
事業目的の達成度を示す指標	公共交通分担率 (ひょうご公共交通10カ年計画)	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目標		10年毎に実施の京阪神都市圏パーソトリップ調査による。 (22年度実績：35%)				35%	
		実績(見込)						【32年度】	
		(単位当たりコスト)		-				/	
	[うち事業拡大分]		-						
	達成率(見込)		-						
	支援対象路線の輸送人員	目標	7,711千人	7,375千人	7,838千人	7,877千人	-		
		実績(見込)	7,838千人	7,877千人	(8,038千人)	(7,877千人)			
		(単位当たりコスト)	(57千円)	(56千円)	(17千円)	(18千円)	/		
		[うち事業拡大分]							
達成率(見込)	101.6%	106.8%	(102.6%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の減少等により、路線維持が困難な状況にある中で、高齢者をはじめとする交通弱者の生活交通手段を確保するため、支援を行う必要がある。 ・県と市町の役割分担を踏まえた負担割合を設定するとともに、補助限度額の設定や運行に対する評価・改善の義務付け等による効率的・効果的な運行の促進を図っている。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	交流五国		所管課班	交通政策課計画班				
事業名	北近畿タンゴ鉄道上下分離基盤管理費補助（平成27年度～）		連絡先	078-362-3884				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	14,503千円	15,456千円	17,660千円	18,559千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	14,503千円	15,456千円	17,660千円	18,559千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(14,503千円)	(15,456千円)	(17,660千円)	(18,559千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			1,755千円	1,807千円	1,774千円	1,781千円		
		職員給与費 a	1,545千円	1,568千円	1,535千円	1,542千円		
		賞与引当金繰入額 b	91千円	109千円	109千円	109千円		
退職手当引当金繰入額 c		119千円	130千円	130千円	130千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		16,258千円	17,263千円	19,434千円	20,340千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	年間輸送人員 （北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画）	目 標	1,925千人	1,950千人	1,975千人	2,000千人	—	
		実績（見込）	1,806千人	1,780千人	(1,679千人)	(2,000千人)		
		(単位当たりコスト)	(9千円)	(10千円)	(12千円)	(10千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率（見込）	93.8%	91.3%	(85.0%)	(100.0%)			
	年間輸送人員 （北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画）	目 標					—	
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
達成率（見込）								
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道沿線地域の生活交通路線であるとともに、地域活性化を図る上でも必要不可欠な路線であるため、関係自治体と協調して支援を行う。 ・ 北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づき、民間事業者のノウハウの活用等により、効率的な事業実施を図っていく。 ・ 平成30年度の年間輸送人員は、7月豪雨災害の影響により、減少する見込み。地域や運行会社等と連携した利用促進（沿線スタンプラリーの実施、丹鉄1日フリー切符の販売）など、北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画に基づく取組を行うことにより、目標達成に取り組む。 							
3年目の見直し	—							